

日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）について
 （日本栄養士会災害支援チーム活動マニュアルより抜粋）

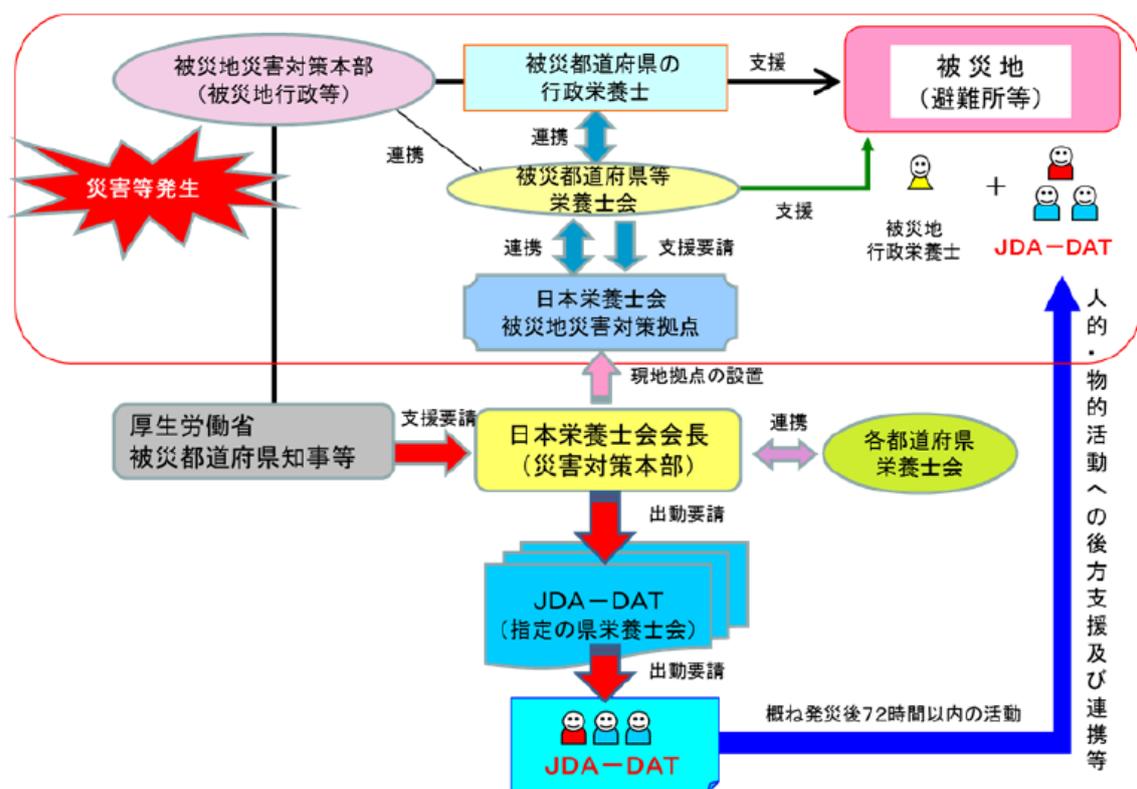
I 基本事項

1 目的

JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）は、日本国内外で大規模な地震、台風等の自然災害（以下「災害」という。）が発生した場合に、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門等と協力して緊急栄養補給物資等の支援を行うことを目的とします。

JDA-DATは指定栄養士会*ごとに設置され、大規模災害が発生すると被災していない栄養士会のJDA-DATは、自らまたは日本栄養士会、国・自治体等からの要請をうけて、速やかに支援活動の行動を行います。

*指定栄養士会とは、JDA-DATを有する意思および人員等を備え、日本栄養士会長に申し出た都道府県栄養士会のことをいいます。



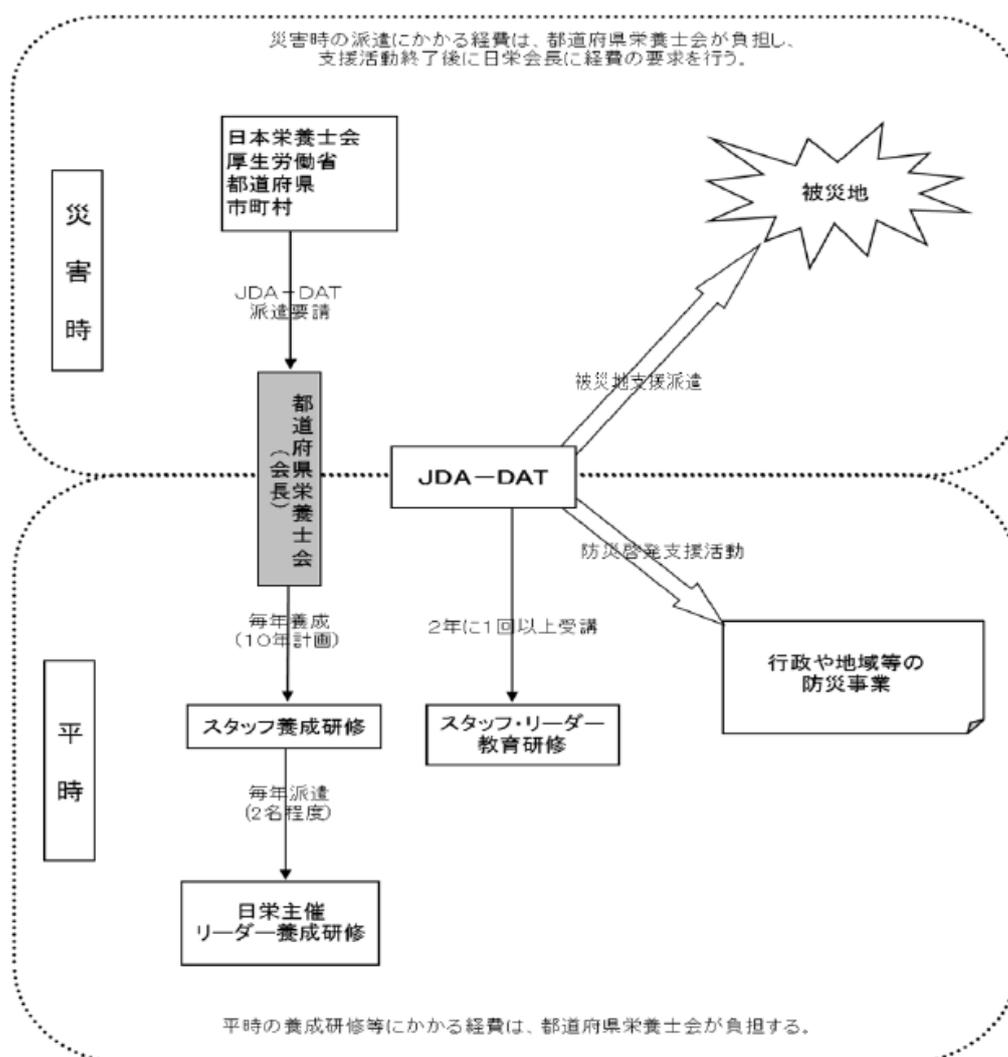
P1 JDA-DAT（The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team）の支援活動イメージ

【JDA-DATの条件】

- 1 急性期に活動する（概ね72時間以内）
- 2 機動性を有する
- 3 専門的トレーニングを受けている
- 4 栄養に関して緊急を要する支援を行うことを目的とする栄養支援チーム
- 5 広域に対応できる
- 6 自己完結性を有する

JDA-DATは、所属する都道府県栄養士会長の命令を受けて、大規模災害の発生後72時間以内（フェイズ0）に行動できる機動性が要求され、活動時は被災地で適切な栄養支援が行えるスキルが必要となります。

そのためには、災害時の栄養支援活動が行えるスタッフの養成とスキルの維持向上を図るためのフォローアップ研修などの育成を継続的に行う必要があります。



P3 都道府県栄養士会におけるJDA-DAT運営例

2 活動内容

- 1 被災地の医療・福祉・行政栄養部門と連携して情報の収集・伝達・共有化を行い、緊急栄養補給物資の支援などを行います。
- 2 被災施設及び避難所等の責任者の許可のもと、被災者への栄養補給などの支援を行います。
- 3 個人の被災者に対して、直接栄養補給などの支援を行います。
- 4 対応の困難な被災者がいる場合は、医療機関に連絡を行うなど、必要な対応を行います。
- 5 移動・搬送手段、調製粉乳、栄養製品等の栄養補給食品の調達手段などについては、自ら確保して継続した活動を行います。

○緊急栄養補給物資の支援とは、栄養補給物資を必要とする避難所等の場所と数、必要物資の内容などを把握し、物資の手配や分配指揮などのことをいいます。

○避難所などの管理責任者は、管理する内容により細分化され複数人いる場合があるので、被災地の組織体制を速やかに把握する必要があります。

○調製粉乳や栄養補給食品は、賛助会員等と協定を結ぶなど都道府県栄養士会で手配しておくことが望ましい。

○特殊な栄養製品の確保については、必要が認められる場合は、日本栄養士会長に支援要請することができます。

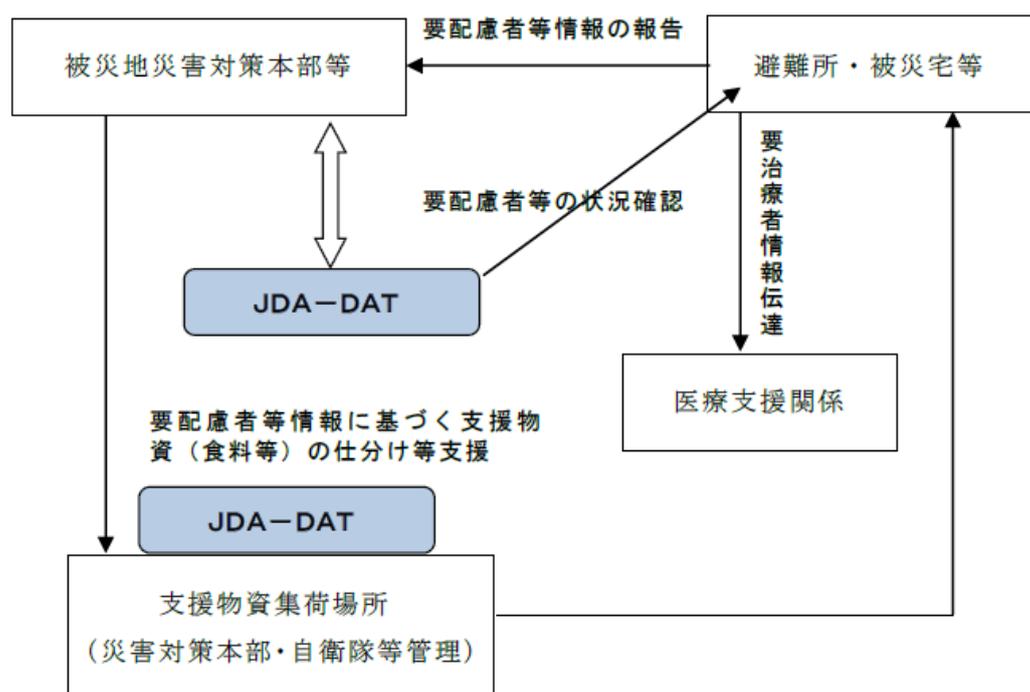


図1 JDA-DAT活動イメージ